

2022 年 3 月 11 日

雑誌『広告』虚実特集号 発売記念トークイベント開催のお知らせ

株式会社博報堂（本社：東京都港区、代表取締役社長：水島正幸、以下博報堂）が今年 3 月 1 日に刊行した雑誌『広告』虚実特集号の発売記念企画として、5 つのオンライントークイベントを開催いたします。

『広告』虚実特集号では、虚と実を二項対立ではなく、混ざり合い作用し合う“化合物”と捉え、不確か
で多様な現実やもののあり方について様々な視点を投げかけています。今回、雑誌『広告』虚実特集
号の発売を記念して、様々な領域の豪華ゲストをお招きして、5 つのオンライントークイベントを開催
いたします。誌面で扱いきれなかったテーマやより深掘りしたいテーマなど「虚実」にまつわる思索
をさらに深めていきます。

第 1 弾 「デザインにおける物理と非物理の間」

グラフィックデザイナー 上西祐理 × 建築家 大野友資 × ウェブデザイナー 田中良治

■主催：SHIBUYA PUBLISHING & BOOKSELLERS

■詳細・お申し込み：<https://spbs20220304.peatix.com/>

第 2 弾 「続・虚実と世界 ～ アニミズムと世界認識」

哲学者 清水高志 × 『広告』編集長 小野直紀

■主催：青山ブックセンター

■詳細・お申し込み：<https://aoyamabc.jp/products/koukoku416>

第 3 弾 「現代の広告における虚実皮膜とは」

クリエイティブディレクター 清水恵介 × 福部明浩 × 細川美和子

■主催：本屋 B&B

■詳細・お申し込み：https://bookandbeer.com/event/20220328_koukoku/

第 4 弾 「行間 ～ 描かないからこそ、見えるもの」

歌人 枅野浩一 × コピーライター 小笠原健

■主催：博報堂

■詳細・お申し込み：<https://kohkoku416-talk4.peatix.com/>

第 5 弾 「『広告』虚実特集号の制作裏話」

グラフィックデザイナー 上西祐理 × 加瀬透 × 牧寿次郎 × AR デザイナー 渡邊敬之

■主催：博報堂

■詳細・お申し込み：<https://kohkoku416-talk5.peatix.com/>

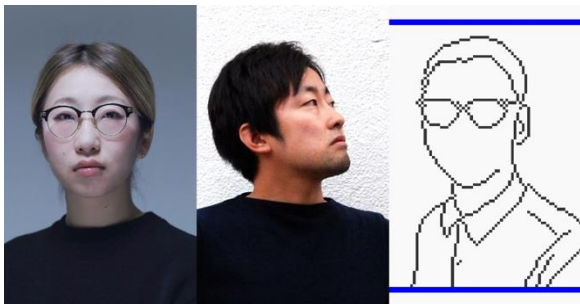
※書店様主催のトークショーには参加費用が発生いたします。

【本件に関するお問い合わせ】 博報堂 広報室 宮坂・大野 TEL：03-6441-6161

<第1弾>

「デザインにおける物理と非物理の間」

グラフィックデザイナー 上西祐理 × 建築家 大野友資 × ウェブデザイナー 田中良治



建築やグラフィックをはじめ様々な領域のデザインにおいて、コンピューターで制作することがあたりまえになった現代。デジタルメディアや仮想空間のなかで、いかに物理的な体験や感覚をつくるか。反対に、物理的なものや空間に、いかに物理を超えた体験を生み出すか。グラフィックデザイナーの上西祐理さん、建築家の大野友資さん、ウェブデザイナーの田中良治さんを迎えて、デザインにおける物理と非物理の間の可能性について語り合います。

[日時] 2022年3月16日(水) 20:00～21:30

[主催] SHIBUYA PUBLISHING & BOOKSELLERS

[形式] Zoom ウェビナーでのライブ配信

[参加料金]

①配信参加：¥1,650 (税込)

②配信参加 + 『広告』虚実特集号：¥3,000 (税込・送料込)

[お申し込み] <https://spbs20220304.peatix.com>

<第2弾>

「続・虚実と世界 ～ アニミズムと世界認識」

哲学者 清水高志 × 『広告』編集長 小野直紀



『広告』最新号の巻頭対談「虚実と世界」に登場した哲学者・清水高志さんを迎え、『広告』編集長・小野直紀と再び対談を行ないます。巻頭での対談や、清水さんの近著『今日のアニミズム』（以文社）の内容も踏まえつつ、哲学や文化人類学の観点から現代における世界認識のあり方について話を伺います。

[日時] 2022年3月19日(土) 19:00～20:30

[主催] 青山ブックセンター

[形式] Zoom ウェビナーでのライブ配信

[参加料金] ¥1,540 (税込)

[詳細・お申し込み] <https://aoyamabc.jp/products/koukoku416>

<第3弾>

「現代の広告における虚実皮膜とは」

クリエイティブディレクター 清水恵介 × 福部明浩 × 細川美和子



近松門左衛門が提唱した芸術論「虚実皮膜」。優れたクリエイティブは虚と実のあいだに存在する皮や膜のようなものと言います。広告会社の役割や広告クリエイティブのあり方が様変わりしている現代において、広告における虚実皮膜とはどんなものなのか？ 広告業界の第一線で活躍する3人のクリエイティブディレクター、清水恵介さん、福部明浩さん、細川美和子さんをゲストに、『広告』虚実特集号で寄稿をいただいた編集者の河尻亨一さんをモデレーターに迎え、具体事例を交えながら議論を交わします。

[日時] 2022年3月28日(月) 20:00~21:30

[主催] 本屋 B&B

[形式] Zoom ウェビナーでのライブ配信

[参加料金]

①配信参加：1,650 円 (税込)

②配信参加 + 『広告』虚実特集号 (サイン入り)：3,250 円 (税込)

③配信参加 + 『広告』虚実特集号 (サイン無し)：3,250 円 (税込)

[詳細・お申し込み] https://bookandbeer.com/event/20220328_koukoku/

<第4弾>

「行間 ～ 描かないからこそ、見えるもの」

歌人 枅野浩一 × コピーライター 小笠原健



あえて言葉にしないからこそ、見えるものがある。限られた文字数のなかで、世界や物語の広がりをつくる短歌や、企業や商品の魅力を伝えるコピーライティングは、言葉を削ったり捨てたりすることで生み出される「行間」の魅力が溢れている。「ない」からこそ「ある」、そんな言葉による表現の“虚実”について、歌人・杵野浩一さんとコピーライターの小笠原健さんが語り合います。

〔日時〕 2022 年 3 月 29 日（火） 20:00～21:30

〔主催〕 博報堂『広告』編集部

〔形式〕 動画共有サイト Vimeo でのライブ配信

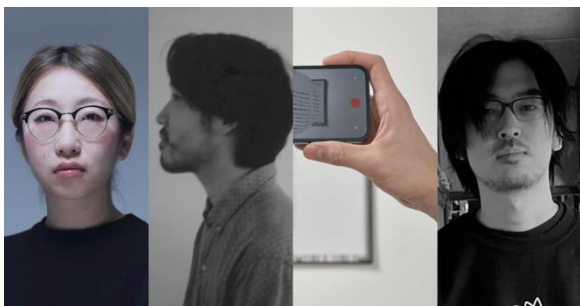
〔参加料金〕 無料

〔詳細・お申し込み〕 <https://kohkoku416-talk4.peatix.com>

<第 5 弾>

「『広告』虚実特集号の制作裏話」

グラフィックデザイナー 上西祐理 × 加瀬透 × 牧寿次郎 × AR クリエイター 北千住デザイン



『広告』の装丁デザインを担当する 3 人のグラフィックデザイナー、上西祐理さん、加瀬透さん、牧上寿次郎さんと『広告』虚実特集号の特別企画として AR 体験アプリを開発した AR クリエイターの北千住デザインを迎え、『広告』虚実特集号の装丁や特別企画がどのようにつくられていったのか、完成にいたるまでの苦悩や迷走、想定外のトラブルなど、制作の裏側のすべてを振り返ります。

〔日時〕 2022 年 4 月 4 日（月） 20:00～21:30

〔主催〕 博報堂『広告』編集部

〔形式〕 動画共有サイト Vimeo でのライブ配信

〔参加料金〕 無料

〔詳細・お申し込み〕 <https://kohkoku416-talk5.peatix.com/>